

平成29年度 事業報告書

社会福祉法人 高梁市社会福祉協議会

(総括)

地域を取り巻く状況は、少子高齢化が急激に進み、人口減少に加え一人暮らし世帯や高齢者のみの世帯が増加し、地域コミュニティ機能が著しく低下してきています。

法人運営では、社会福祉法人制度改革に伴い、経営組織のガバナンスの強化や事業運営の透明性の向上が求められるとともに、地域公益活動の実施が責務と規定されました。

平成29年度において、社会福祉協議会では地域社会の変化や社会福祉法人改革に対応した事業展開を行いました。

社会福祉法人改革の事業運営の透明性の向上では、財務諸表・現況報告書・定款・役員等の報酬基準をホームページ上で公表を行いました。地域公益活動では、市内の10社会福祉法人で法人連絡会を結成し、共同で「生活困窮者に対する緊急食料支援」や「ひきこもりや障害者等の社会参加支援事業」の取組みを行いました。なお、社会福祉協議会が法人連絡会の事務局を担い、会の運営に努めました。

地域福祉事業では、地区社会福祉協議会と連携し給食サービス等を通じた見守り活動を推進するとともに、一人ひとりが地域福祉の担い手として自発的に活躍できるよう、学習及び活動ができる機会の提供に努めました。

介護保険事業では、要支援1・2の人に対する介護保険サービスのうち訪問介護及び通所介護が市が行う総合事業へ移行したため、新たに介護予防・生活支援サービス事業に取り組みました。

公益事業においては、シルバー人材センターの運営を行いました。延受注件数、延就労人員とも前年度を下回ることとなりました。総合福祉センター事業では、行政の公共施設の再編統合に伴う成羽総合福祉センターの処分要望があり、財産処分を行いました。なお、代替施設として成羽デイサービスセンター2階・3階を成羽福祉センターとして運営することになりました。

～地域福祉活動計画に基づく4つの基本目標の取組み～

- ①「地域で活躍できる人づくり」では、住民同士で支え合い助け合って暮らしていく地域社会を目指し、各地区に「お助け隊」の設置を進めました。
- ②「手と手をつなぐ地域づくり」では、市内全町内会に福祉委員の選出を依頼するとともに活動費の助成を行いました。地区社会福祉協議会との連携により小地域ネットワークの構築及び地域ニーズの把握に努めました。
- ③「地域を支える環境づくり」では、地域と社会福祉協議会を結ぶ地区担当職員の配置により地域との連携を図るとともに、広報誌「ふれあい福祉」を定期的に発行し、福祉情報の発信に努めました。また、自立支援相談窓口である「高梁市生活あんしんサポートセンター」の相談体制の充実に努めました。
- ④「安心して暮らせる体制づくり」では、行政をはじめ関係機関と連携し、福祉サービスの提供に努めました。

(執行体制)

1. 役員等 (平成30年3月31日現在)

役職名	人 数
会 長	1
副会長	2
理 事	12 (会長・副会長を含む)
監 事	2
評議員	25

2. 職員 (平成30年3月31日現在)

所 属	職員数	内 訳		
		正 職	内兼務	臨時職員
事務局	1	1		
総務課	8	5		3
地域福祉課	11	14	4	1
介護保険課	4	4		
居宅介護支援事業所たかはし	2	2		
訪問介護事業所	3	6	3	※注1
訪問入浴事業所たかはし	4	2	2	4
巨瀬デイサービスセンター	3	6	6	3
有漢支所	2	1		1
成羽支所	4	2		2
グループホームささゆり苑	16	4	1	13
川上支所	2	2		
居宅介護支援事業所かわかみ	3	3		
川上デイサービスセンター	9	6	1	4
備中支所	2	2		
居宅介護支援事業所びっちゅう	3	3		
備中デイサービスセンター	11	5	1	7
合 計	88	68	18	38

※注1 訪問介護事業所 登録ヘルパー27名

法人運営事業

1. 法人運営事業

予算額 106,755千円

執行額 94,045,343円 執行率 88.1%

(1) 理事会、評議員会等の各種会議の開催（詳細別添参照）

①正副会長会 4回

②正副会長・支会長会 1回

③理事会 5回

④評議員会 4回

⑤各種委員会 11回

（総務企画委員会 4回、社会福祉委員会 4回、表彰選考委員会 1回、苦情解決第三者委員会 1回、総合福祉センター管理運営委員会 1回）

⑥支会運営委員会 8回

(2) 会員制度の広報、普及による自主財源の確保

福祉委員連絡会や広報紙等により会費の協力依頼や会費を財源とした事業説明を行い、会員制度の普及と充実に努めた。

<目標> 普通会員数 6,700人

<実績> 普通会員数 6,680人

	H29		H28	
	人数・件数	金額	人数・件数	金額
普通会員	6,680人	7,034,000円	6,727人	7,084,000円
法人会員	255件	837,352円	269件	881,000円
ふるさと会員	83人	303,000円	75人	266,000円
特別会員	9人	45,000円	11人	55,000円
合計	7,027人（件）	8,219,352円	7,082人（件）	8,286,000円

・人口や世帯数の減少が続く中、有漢・成羽・川上地区では件数は増加したが、全体では目標に至らなかった。

(3) 職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施（詳細別添参照）

職員の意識改革及び人材育成のため、計画的な研修を企画実施した。

・計画的な職員の外部研修 7回（延べ 9人）

・内部研修 1回

・内部監査の実施 1回

(4) 事務効率の向上及び経費節減のための事務改善

庁内ネットワークシステムを活用し、迅速な情報提供・共有に努めた。

2. 企画広報事業

予算額 1,927千円

執行額 1,923,246円 執行率 99.8%

広報紙やホームページに加え、福祉委員連絡会、ふれあい福祉講座等あらゆる機会において社協活動の広報を行った。また、新聞やケーブルテレビを活用しての広報活動に努めた。

(1) 「ふれあい福祉」の発行

広報紙を発行し、市民へ社協の情報を発信した。

<目標> 年6回奇数月に発行

<実績>

発行月	主な内容
平成29年5月 (第73号)	平成29年度事業計画・予算、コミュニティカフェ通信、赤い羽根まちづくり福祉活動助成事業、私の町のふくし人 (Vol 7)、新評議員委嘱状交付、福祉出前講座、お知らせ
平成29年7月 (第74号)	平成28年度決算報告及び実施事業、会費・寄附金財源事業、私の町のふくし人 (Vol 8)、地域福祉活動報告、一般募金助成金交付式新役員委嘱状交付、お知らせ
平成29年9月 (第75号)	夏のボランティア体験事業、ふれあい福祉講座、赤い羽根共同募金運動、賛助会員会費、私の町のふくし人 (Vol 9)、お知らせ
平成29年11月 (第76号)	赤い羽根共同募金運動、秋の各種表彰、敬老事業、私の町のふくし人 (Vol 10)、賛助会員会費、地域福祉活動報告、お知らせ
平成30年1月 (第77号)	新年のあいさつ、賛助会員会費、各種表彰、赤い羽根共同募金・法人募金、地域福祉活動計画の評価、私の町のふくし人 (vol 11) 地域福祉活動報告、お知らせ
平成30年3月 (第78号)	ふれあいサロン交流会、ボランティア研修会、赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金、私の町のふくし人 (Vol 12)、地域福祉活動報告、お知らせ

(2) ホームページの更新、充実

事業運営の透明性の向上と迅速な情報提供を行うため、積極的な活用と内容の充実に努めた。

(3) 社協会長表彰

地域社会福祉向上に顕著な功績があった個人、団体に対し表彰を行った。

	H29	H28
個人 (人)	10	9
団体数	2	2

〈個人の部〉

表彰内容（所属団体名）	氏名
心身障害者福祉功労（高梁市地域活動支援センター）	杉 次 昭
社会福祉団体功労（高梁地区遺族会）	平井 宏道
社会福祉功労（高梁市社会福祉協議会理事）	石田 清壽
社会福祉施設功労（高齢者総合福祉施設ちかのり）	西井 孝子
社会福祉施設功労（高齢者総合福祉施設ちかのり）	河原 富美
社会福祉施設功労（高齢者総合福祉施設ちかのり）	畑 圭子
社会福祉施設功労（高齢者総合福祉施設ちかのり）	田中 憲悟
社会福祉施設功労（高齢者総合福祉施設ちかのり）	田 中 登
社会福祉施設功労（特別養護老人ホーム有漢荘）	綱嶋 浩子
社会福祉施設功労（老人保健施設ゆうゆう村）	熊本小百合

〈団体の部〉

表彰内容	団体名
福祉ボランティア活動功労	高梁ハーモニカ倶楽部
福祉ボランティア活動功労	川上中学校生徒会

3. 地域における公益的な取組

社会福祉法の改正に伴い「地域における公益的な取組」は、すべての社会福祉法人の責務とされた。

- 「高梁市社会福祉法人連絡会」を市内10法人で結成し、取組を行った。

設 立 日 平成29年4月11日

- 実施事業
- ・生活困窮者緊急一時支援事業（通称：ライフサポート事業）
生活困窮者へ一定期間最低限の食料等の提供
 - ・引きこもりや障害者等の社会参加支援事業（通称：お仕事体験事業）
引きこもりや障害者、未就労の生活困窮者を対象に社会参加等の体験機会の提供
 - ・災害時避難場所提供事業の協力（通称：避難訓練提供事業）
非常災害時に避難困難な高齢者や障害者等に一時避難場所を提供

実 績

- ・ライフサポート事業 3件
- ・お仕事体験事業 1件

- 社会福祉協議会単独での公益的な取組

- ・日常生活用具貸出事業（9ページ参照）
- ・災害等見舞金支給事業（10ページ参照）
- ・福祉出前講座（11ページ参照）

地域福祉事業

1. 地域福祉活動事業

予算額 26,216千円

執行額 23,640,752円 執行率 90.2%

(1) ふれあいのまちづくり事業

①福祉委員活動支援

○福祉委員の設置

地域の見守りや地域福祉課題解決を図るため、全町内会に福祉委員の設置に努めた。

<目標> 設置数 695町内会

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
町内会数	390	33	93	99	83	698	698
福祉委員数	386	33	93	99	84	695	695

○小地域福祉ネットワーク活動の推進

民生委員児童委員等との連携、情報交換を図るため、ご近所見守りネット事業を地区社会福祉協議会単位で推進した。

・福祉委員連絡会

年度当初に総会を開催（14地区）し、福祉委員の役割や社協の事業などについて説明するとともに、小地域福祉活動の推進について協力を依頼した。

・福祉委員連絡協議会

総合的かつ効果的な地域福祉活動を推進するため、福祉委員連絡協議会を開催し、連絡会相互の連携を図った。

平成29年8月25日（金）／高梁総合福祉センター／14名

平成30年2月6日（火）／高梁総合福祉センター／12名

・ご近所見守りネット事業の推進

小地域福祉ネットワーク活動の推進のため、福祉委員を含む地区社協構成員が、定期的に集まる機会をつくり見守り活動の推進に努めた。

・地区社協会長・福祉委員連絡会長視察研修会の開催

地区社協会長及び福祉委員連絡会長が一堂に会し、相互の親睦を深めるとともに、先進的な地域活動事例を学び、各地区における小地域福祉活動の推進に努めた。

平成30年3月2日（金）／玉原地区社会福祉協議会（岡山県玉野市）／26名

○福祉委員の活動支援の推進

・「福祉委員活動のてびき」を活用し、福祉委員活動の周知及び役割の明確化に努め

るほか、ご近所見守りネット事業の推進により、見守り強化月間等を設定するなど活動の充実を図った。

- ・福祉委員証を交付し、意識の高揚に努めた。
- ・ボランティア活動保険への加入により活動支援を行った。
- ・「福祉委員活動のてびき」に基づいた活動等を実施した場合に、活動費を選出町内会に支給した。

②地区社会福祉協議会の支援

○地区社会福祉協議会の活動支援

地域に根ざした特徴的な地域福祉活動を推進するとともに、ささえあいたすけあいによる住みよい地域社会の実現に向け、地域住民による「お助け隊派遣事業」の仕組みづくりを支援した。

また、総会での事業説明や情報提供を行うなど連携強化を図った。

	H29	H28
交付地区社協数	14地区社協	14地区社協
交付金額	5,504,000円	5,541,000円

○地区社会福祉協議会会長会並びに役員連絡会議の開催

地区社会福祉協議会相互の意見交換等の場を設け、情報提供等を行い、市内全域における小地域福祉活動の活性化に努めた。

平成29年7月4日（火）／高梁総合福祉センター／27名

平成30年1月17日（水）／高梁総合福祉センター／25名

(2) 地域福祉活動推進事業

①地域福祉活動計画の推進

安心して、いきいきと暮らせる地域社会を目指す地域福祉活動計画の推進に努めた。

○計画の理解と普及

福祉座談会で計画の主旨及び社協事業について説明するとともに住民ニーズの把握に努めた。

○計画の進捗管理と評価体制の整備

目標達成に向けて各事業の推進を図るほか、進捗管理及び評価体制について検討を行った。また、社会福祉委員会において評価を行った。

○事業成果の公表

各事業の実施状況について広報紙等で公表し、透明性を図った。

②福祉座談会（地域福祉活動事業）

社会福祉協議会活動の理解と地域課題に対応する事業展開のため、各地区で座談会を開催した。

<目標> 15地区で開催

<実績> 1月から2月にかけて市内14地区で開催した。

③ふれあい福祉講座

地域住民が福祉に対する理解を深め、「ささえあい・たすけあいの福祉のまちづくり」の推進を図る研修の場として開催した。

また、地区社会福祉協議会活動やサロン団体の活動のPR、活動での作成品の展示や販売の機会を提供した。

<目標> 全体775人（内福祉委員参加者275人）

<実績>

	H29	H28
開催日	平成29年7月28日（金）	平成28年7月29日（金）
開催場所	高梁総合文化会館	高梁総合文化会館
参加人数	700人（内福祉委員108人）	650人（内福祉委員127人）

各地域における福祉委員活動やサロン活動など先進事例の発表を行い、地域福祉活動の活性化に努めたが、参加者数の目標達成には至らなかった。

④健康福祉のつどい

保健、医療、福祉、ボランティア活動に功労のあった方々を顕彰するとともに、保健福祉の認識を一層深め、21世紀の高梁市のすべての人々が健康で心豊かに生活できるよう「心のつながりを大切に 支えあい助けあう 安心のまちづくり」を目的に市との共催により開催した。

	H29	H28
開催日	平成29年10月14日（土）	平成28年10月15日（土）
開催場所	高梁総合文化会館他	高梁総合文化会館他
参加人数	1,000人	1,000人

・社会福祉協議会会長表彰の実施

⑤県内外社協等との交流

視察を積極的に受入れ、地区社会福祉協議会間の情報交換により、小地域福祉活動の活性化に努めた。

・地区社会福祉協議会関係 1件

受入地区	来訪団体
宇治地区社会福祉協議会	総社市社会福祉協議会池田地区

(3) 福祉活動助成事業

①ふれあいサロン事業

地域で安心していきいきと生活を送ることができる相互システムを身近な範囲に構築し、住民の福祉意識の向上を図った。

また、広報紙等を活用した制度や事例紹介などの広報及び、新規立ち上げ等の支援を行うなど取組みやすい環境の整備に努めた。

なお、より参加しやすい身近な地域でのサロンを推進するため、助成金の見直しを行った。

	H29	H28
講師対応	9件	10件
相談対応	41件	65件
内 訪問	2件	2件
来所	29件	37件
電話	10件	26件

<目標> 助成件数 125件

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
交付決定数	77	7	17	12	12	125	122
内 5町内	67	7	15	10	11	110	106
内 大字単位	5	0	2	2	1	10	10
内 町単位	3	0	0	0	0	3	4
内 年4・5回	2	0	0	0	0	2	2
交付決定額	2,570,103	210,000	590,000	420,000	400,000	4,190,103	4,120,000

・ふれあいサロンのリーダー育成として、代表者交流会を行った。

②福祉団体活動助成事業

市民で組織され、市内を活動範囲とする団体の運営費又は事業費の一部を助成し、活動の一層の活性化を図った。

③車両貸出

福祉団体等の活動に対して、自動車の貸し出しを行い、福祉活動の支援に努めた。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
貸出件数	20	2	2	4	2	30	37
内 サロン団体	11	0	0	1	0	12	18

(4) 老人福祉事業

①老人クラブ活動支援

高梁市老人クラブ連合会及び各地域老人クラブの活動支援を行った。また、地域老人クラブの自主的な運営を支援した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
会員数	1,677	240	1,010	607	510	4,044	4,174
単位クラブ数	15	8	17	9	13	62	62

②日常生活用具貸出事業

虚弱な高齢者等へ、生活補助用具（特殊ベッド、車椅子）を無料で短期間貸し出した。

	H29			H28
	保有台数	延貸出件数	貸出可能台数	延貸出件数
特殊ベッド	22	38	14	31
車いす	47	67	39	65

(5) 障がい児・ひとり親・児童福祉事業

福祉活動団体の一層の活性化と地域福祉推進のため、障害者スポーツ大会等の支援を行った。

	H29	H28
障害者スポーツ大会等助成金支給件数	1	1

(6) 災害福祉活動事業

①災害等見舞金支給事業

自然災害又は火災により、現に居住している住宅等の建物に被害を受けた世帯に対し見舞金を支給した。

	H29	H28
災害見舞金支給件数	1件 (高梁)	1件 (有漢)
火災見舞金支給件数	9件 (高梁5、備中4)	5件 (高梁3、有漢・成羽各1)
死亡弔慰金支給件数	0件	0件

(7) 一般募金助成事業

だれもが住み慣れた地域で安心して暮らすことができ、住民自らが積極的に参加する福祉のまちづくりの活動を促すため、助成金を支給した。

○対象団体

高齢者・障害者・児童関係福祉団体、ボランティア団体、地域福祉活動団体等

○助成金の決定方法等

公募により団体を募り、社会福祉協議会理事会で審議した。

区分	H29		H28	
	件数	金額	件数	金額
高齢者、身体障害者等、児童活動助成金件数	20	955,000	19	1,043,000
ボランティア団体活動助成金件数	6	294,000	6	304,000
地域福祉活動助成金件数	14	1,761,000	14	1,773,000
計	40	3,010,000	39	3,120,000

(8) 歳末たすけあい支援事業

新たな年を迎える時期に、支援を必要とする人たちが地域で安心して暮らすことができるよう、歳末たすけあい運動の趣旨に添った個人及び団体に対し慰問金又は助成金を支給した。

個人（慰問金）対象：在宅要介護者、難病者等

団体（助成金）対象：ボランティア団体、福祉団体

区分	H29		H28	
	件数	金額	件数	金額
在宅要介護者慰問金件数	166	996,000	183	1,098,000
難病者等慰問金件数	107	642,000	123	738,000
ボランティア団体、福祉団体活動助成（団体）件数	12	695,000	13	838,800
計	285	2,333,000	319	2,674,800

(9) ボランティアセンター活動事業

幅広い年代の社会参加を促すため、ボランティア学習、また、社会奉仕できる場や機会の提供を図り、人材の育成や発掘等に努め福祉教育を推進した。

①学童、生徒のボランティア活動普及事業

学童、生徒の社会福祉への関心を高め、社会奉仕、社会連帯の精神を養いボランティア活動の推進と啓発を図るため、教育委員会と連携し、小学校、中学校、高等学校の中からボランティア活動普及事業協力校に指定し、体験学習やボランティアの実践活動を行った。

<目標> 指定校10校

<実績>

- ・ 指定校10校 小学校／津川、川面、中井、松原、有漢東、有漢西、川上
中学校／高梁東、有漢、川上

(平成28年度から平成30年度の3年間指定)

②福祉出前講座

福祉の心を育てるため、ボランティア団体等と連携を図り、学校等に出向き福祉に関する講座（高齢者疑似体験、車椅子体験、手話体験等）を実施した。

<目標> 33回

<実績>

	H29	H28
高齢者疑似体験	6	8
車いす体験	6	5
手話体験	3	5
アイマスク体験	3	5
その他	7	7
計	25	30

③ボランティア育成

○ボランティア登録事務及び斡旋

ボランティア活動に興味のある個人又は団体にボランティアセンターへの登録を促しボランティア要望のある団体・施設等に斡旋を行った。

<目標> 106団体・個人30人

<実績>

登録状況	種別	H29登録者・団体数	H28登録者・団体数
	個人		21人
団体		96団体 (2,918人) 内 89団体 (1,586人) ボラ団体 7団体 (1,332人) 協力団体	93団体 (2,916人) 内 86団体 (1,539人) ボラ団体 7団体 (1,377人) 協力団体
相談斡旋		相談件数4件	相談件数12件
		内 斡旋延件数 2団体 (学校他) 2人 (個人)	内 斡旋延件数 2団体 (学校他) 4人 (個人)

○ボランティア研修会を開催し、活動の普及とボランティアリーダーの育成に努めた。

	開催日・場所	H29	H28
ボランティア研修会	平成30年2月15日 (木) 高梁市文化交流館	180人	266人

④福祉団体、ボランティア団体活動助成事業

・福祉活動、ボランティア活動を行う団体に対し、運営費・事業費の一部を助成することにより、活動の活性化を図った。

	H29	H28
福祉団体	0	0
ボランティア団体	2	3
計	2	3

・ボランティアセンター登録団体には、ボランティア活動保険料 (150円/人) を助成した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
団体数	23	3	3	7	3	39	39
助成人数	1,139	49	25	31	56	1,300	1,326

・ボランティア活動に興味のある個人又は団体の状況やボランティアを要望する施設等を、ホームページなどを活用し情報発信を行った。

⑤夏のボランティア体験事業の開催

中学生、高校生、大学生を対象として、夏休み期間中に社会福祉について理解を深めてもらうため、ボランティア活動の機会を提供した。

・事前研修会、体験活動、事後研修会の開催

<目標> 参加者 245人

<実績>

事項	種別	H29	H28
事前研修会	開催日	平成29年7月17日(月)	平成28年7月18日(月)
	参加者	学生 222人	学生 216人
		受入施設 34人	受入施設 29人
体験活動	活動期間	7月から8月の夏休み期間中	7月から8月の夏休み期間中
	体験施設	市内44施設	市内42施設
		3ボランティア団体 1福祉団体	3ボランティア団体 1福祉団体
事後研修会	開催日	平成29年8月26日(土)	平成28年8月27日(土)
	参加者	学生 202人	学生 201人
		受入施設 22人	受入施設 17人

生徒・学生が、ボランティア活動に積極的に取り組めるよう、学校や教育委員会、各関係機関との連携強化に努めたが目標に至らなかった。

⑥地域福祉活動基金

基金の果実をボランティアセンター活動事業に繰出し事業を実施した。

<地域福祉活動基金積立資産内訳>

	区分	期間	償還日	金額	利率(税引き前利回り)
①	定期預金	-	-	55,390,320	0.050%
②	定期預金	-	-	23,400,000	0.10%
③	利付国債	10年	2025/12/20	84,554,340	0.30%
④	利付国債	10年	2025/12/20	36,655,340	0.30%

・定期預金・国債の29年度利息(基金総額200百万円)

定期預金利息 117,916円

国債利息 360,600円

2. 在宅福祉サービス事業

予算額 128,241千円

執行額 126,715,841円 執行率 98.8%

(1) 敬老事業

①敬老事業

永年にわたり地域社会に貢献した高齢者の長寿を祝う敬老会の開催を支援した。

<目標> 敬老会開催数 55件

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
交付団体数	31	1	12	8	10	62	72
75歳以上人数	912	189	248	213	305	1,867	1,895
88歳人数	114	22	31	25	25	217	226
延対象人数	1,026	211	279	238	330	2,084	2,121
申請額	1,539,000	316,500	418,500	357,000	495,000	3,126,000	3,181,500

②敬老祝い品贈呈事業

福祉委員の協力を得て、永年にわたり地域の発展に尽力された米寿の方に記念品（肖像写真）を贈呈した。

<目標> 贈呈率 75%

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
該当者数	178	23	61	42	40	344	362
贈呈者数	136	19	52	34	34	275	268
贈呈率	76.4	82.6	85.2	81.0	85.0	79.9	74.0

(2) 高梁市福祉移送サービス事業

社会参加及び生活支援のためにドア・ツー・ドアによる移送サービスを行うとともに、安全運転に関する講習会等を開催し、安全運行に努めた。

○事業管理システムの活用

車両運行の効率化、事務の省力化を行うため、一元的な事業管理に努めた。

○移送車輛の更新

安全運行の確保のため軽四車輛（フロントシートリフト4WD助手席回転シート）1台の更新整備を行った。

○専門研修の開催

安全運転に関する講習会（2月）及び運転適性検査（3月）を実施した。

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28	
受講対象運転者数	21	7	6	15	23	72	67	
受講者	交通安全講習会	12	6	3	8	10	39	26
	運転適性検査	9	0	3	7	6	25	34
	計	21	6	6	15	16	64	60

○高梁市福祉運転ボランティアの会及び各支部の事務支援

運転ボランティアの総会等の場で、相互の情報共有を図った。

<目標> 延利用者数 4,800回

運転ボランティア数70人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
移送車両数	9	3	3	4	6	25	25
運転ボランティア数	22	7	9	16	23	77	67
会員数	153	58	62	55	62	390	387
一般移送数(延)	590	335	270	197	168	1,560	1,590
透析移送数(延)	1,451	89	507	791	397	3,235	3,635
難病移送数(延)	6	27	20	0	1	54	58
移送利用計	2,047	451	797	988	566	4,849	5,283

(3) ちょこっとお助けサービス事業

自主事業のちょこっとお助けサービス事業を市の軽度生活援助事業に統合し、ちょこっとお助けサービス事業として、日常生活を営むのに支障のある高齢者に支援員（シルバー人材センター会員）を派遣し、庭周辺の手入れ等、介護保険サービス以外のサービスを提供した。

<目標>年間利用実人数 42人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
利用対象者数	77	4	14	3	5	103	87
利用実人数	29	3	5	2	3	42	42
延利用人数	193	13	20	11	35	272	309

(4) 高梁市健やか高齢者生きがい支援事業

介護予防、自立支援のため日常動作訓練や趣味活動等の各種サービスを提供するとともに利用者の自主性も尊重したサービス提供を実施した。また、指定管理施設の適切な管理運営に努めた。

○生きがいデイサービスの実施

- ・ミニデイサービス：高梁地区の旧町等10ヶ所で実施
- ・生きがいデイサービス：備中高齢者生活福祉センターで実施
- ・生きがい対策デイサービス：川上いきいき交流館で実施

○指定管理施設の運営管理

- ・備中高齢者生活福祉センター指定管理施設の管理運営
- ・川上いきいき交流館指定管理施設の管理運営

○事業の周知、利用促進

老人クラブなどへ事業の説明を行い、利用の促進を図った。

<目標>年間延利用人数

生きがい(対策)デイサービス 2,700人

ミニデイサービス 3,000人

<実績>

	高梁	川上	備中	合計	H28
実施回数	126	157	40	323	329
利用延人数	2,546	1,985	564	5,095	5,311

(5) 高梁市給食サービス事業

一人暮らしの高齢者及び障害者等で調理が困難な世帯に、宅配による食事の提供を行い、併せて配食ボランティアによる安否確認を実施した。

○給食サービス事業の市内統一的な実施に努めた。また、市内の調理委託業者に対し、メニューを含め事業内容の再確認を行った。

平成29年8月23日(水) / 高梁総合福祉センター / 4業者

○高梁市民生委員児童委員協議会等関係機関と連携し、潜在的なニーズの把握に努め未実施地区へ出向き事業の説明を行うなど、サービスの未実施地区の解消に努めた。

平成30年2月26日(月) 落合町阿部地区説明会開催

平成30年3月6日(火) 落合町阿部井谷地区サービス開始

平成30年3月3日(土) 松山大久保地区説明会開催

○メニュー数の増加等、内容の充実を図った。

<目標>延食数 31,000食

実利用人数 360人

配食ボランティア数 545人

<実績>

	高梁 週4回 月火木金	有漢 週1回 水	成羽 週3回 月水金	川上 週3回 月水金	備中 週1回 木	合計	H28
利用実人数	185	35	73	31	29	353	343
延食数	22,197	1,155	6,349	2,240	1,062	33,003	31,450
配食ボランティア数	276	74	25	153	39	567	571

(6) 高梁市寝具洗濯乾燥消毒事業

寝具の衛生管理が困難な方に対し、年間2回、ふとん等の洗濯、乾燥、消毒のサービスを行った。

また、居宅介護支援事業所などの関係機関と連携し広報活動を行った。

<目標>実利用人数 185人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
利用実人数	118	21	33	26	30	228	221
利用延件数	180	36	47	42	50	355	328

(7) 生活支援体制整備事業

介護予防・日常生活支援総合事業の体制整備を進めるにあたり、市が定める圏域ごとに地区社会福祉協議会へ地域の協議の場としての「第2層協議体」を設置し、地域の社会資源の整理、情報の共有、地域に必要なサービスや地域の福祉課題の発見に努めた。また、課題に対する具体的な目標設定を行い、役割分担や組織化を図った。

(8) 遺族への援護

高梁市遺族連合会の事務支援を行った。

(9) 保健センター事業

川上保健センターの維持管理に努めた。

	H29		H28	
	件数	延利用者数	件数	延利用者数
健康相談、機能訓練等提供	51	679	12	237
子育て支援等交流事業実施	18	281	14	164
その他(老人クラブ等)	69	803	54	791
合計	138	1,763	80	1,192

3. 権利擁護事業

予算額 18,352千円

執行額 15,782,013円 執行率 86.0%

(1) ふれあい相談事業

高齢者等の日常生活における心配ごと等について随時相談に応じ、適切な助言を行った。

随時相談(各社会福祉協議会事務所) 福祉総合相談

	H29	H28		H29	H28
開催回数	随時	随時	生 計	0	0
職業生業	6	0	住 宅	3	1
離 婚	1	1	医 療	2	0
家 族	6	0	生 活	0	0
教 育	0	0	そ の 他	38	27
人権法律	1	0	計	57	29

(2) 日常生活自立支援事業

認知症等により、金銭管理、福祉サービスの利用手続き等に不安がある方を対象に、生活に必要な預貯金の出し入れや福祉サービスの利用手続きなどの支援を行った。

利用に関する相談の対応や利用契約の締結までを専門員が行い、契約後は、各地域の生活支援員が利用者宅を訪問するなどして支援を行った。

○サービスの種類

福祉サービス利用援助、日常的な金銭管理サービス、書類等預かりサービス

<目標> 実利用者数 14人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
利用実人数	5	0	2	0	6	13	11
支援員数	5	1	1	2	3	12	12

今年度は4人の新規契約があったものの、施設入所等で2人が契約終了となった。

(3) 自立相談支援事業

市から高梁市生活あんしんサポートセンター事業の一部を受託し、生活困窮者が抱える多様で複合的な問題について、状態に応じた包括的かつ継続的な相談支援等を実施するとともに困窮状態から早期に脱却するよう、ふれあい相談や生活福祉資金貸付事業、日常生活自立支援事業等の関連事業との調整を図りながら、関係機関との連携を密にし効率的な相談支援に努めた。

○相談件数

	H29年度	24件	H28年度	19件
--	-------	-----	-------	-----

(4) 生活福祉資金貸付事業

岡山県社会福祉協議会から事業を受託し、生計困難で必要な資金の融資を他から受けることができないことにより資金を必要とする方に、必要な資金の貸付・償還指導を行い自立更生の支援を行った。

	H29	H28
新規貸付件数	1	0
償還済件数	2	2
貸付中件数	7	8

(5) 福祉資金貸付事業

低所得者への資金の貸付（無利息）による自立支援及び償還指導を行った。

また、職員の専門性を発揮することにより、迅速な相談対応に努めた。

○資金種別

福祉資金貸付（貸付限度額10万円） 2件

（うち緊急小口貸付2件）

出生、死亡、疾病等一時的資金貸付（貸付限度額20万円） 0件

	H29	H28
新規貸付件数	2	2
償還済件数	8	0
貸付中件数	4	10

介護保険事業

予算額 214,143千円

執行額 211,099,034円 執行率 98.6%

介護保険サービス利用者が可能な限り在宅生活を営むことができるよう、各種のサービス事業を効率的に運営するとともに、介護サービスの充実を目指し職員の資質向上に努めた。

1. 居宅介護支援事業

○介護サービス及び介護予防サービスのケアプラン作成

介護支援専門員が、心身の状況や生活環境、本人・家族の希望に沿ってケアプランを作成し、その計画に位置付けたサービスを提供する各サービス事業所との連携調整を行った。

○要介護認定調査

介護保険要介護更新認定、要支援更新認定申請者に対して、市からの委託により調査を行った。

<目標>

	高梁	川上	備中	合計
要介護支援延回数	750	1,250	1,190	3,190
予防介護延回数	200	40	120	360
計	950	1,290	1,310	3,550

<実績>

		高梁	川上	備中	合計	H28
要介護支援	実人数	74	120	131	325	324
	延回数	681	1,113	1,192	2,986	3,105
予防介護	実人数	14	13	8	35	33
	延回数	118	81	52	251	271
予防介護ケアマネジメント	実人数	0	2	3	5	0
	延回数	0	12	15	27	0
延回数計		799	1,206	1,259	3,264	3,376
介護認定調査	延回数	42	70	62	174	164

介護支援専門員一人当たりの利用者数制限のため、要介護者中心のケアプラン作成に重点を置き収益確保を重視した。

2. 訪問介護事業

訪問介護を希望する利用者に対して、訪問介護員が居宅を訪問し、住み慣れた地域で自立した生活が継続できるようサービスの提供を行った。

○介護保険利用者へ指定訪問介護及び指定介護予防訪問介護の提供

調理や掃除、洗濯、買い物等の生活援助及び入浴介助、食事介助、排泄介助、着脱介助等の身体介護を行った。

○障害者総合支援事業利用者へ居宅介護サービスの提供

障害者（児）の居宅を訪問し、身体介護及び家事援助を行った。

○移動支援の提供

1人で外出できない障害者（児）等が、社会参加活動のために外出する場合、介護員が移動の支援を行うサービスであるが、利用者はなかった。

○訪問介護員の資質の向上

登録ヘルパーを含めた研修会を定期的で開催し、介護技術等の向上に努めた。

<目標>

種類	利用延回数
介護保険 訪問介護	7,800
介護保険 予防介護	1,700
障害者総合支援 居宅介護	1,200
移動支援	0
計	10,700

<実績>

		H29	H28	
介護保険	訪問介護	実人数	108	120
		延回数	7,059	7,813
	予防介護	実人数	22	47
		延回数	820	2,174
延回数計		7,879	9,987	
障害者総合支援	居宅介護	実人数	17	18
	居宅介護	延回数	1,313	1,227
移動支援	移動支援	実人数	0	0
	移動支援	延回数	0	0
延回数合計		9,192	11,214	

在宅から施設入所、退院から直接施設入所となる方が増加し、サービス提供回数は減少。平成28年1月から県の認可を受け特定事業所として10%の加算を得て収益改善と体制の強化に努めているが、利用者の地域偏重と登録ヘルパー不足も影響し、目標未達成となった。

3. 訪問入浴介護事業

住環境や健康状態により居宅での入浴が困難な利用者に対し、看護師・介護職員が入浴車で訪問し、入浴介護サービスの提供を行った。

<目標> 利用延回数 450回

<実績>

			H29	H28
介護保険	訪問入浴	実人数	9	16
		延回数	214	278
	予防介護 訪問入浴	実人数	0	0
		延回数	0	0
	延回数計		214	278
障害者総合支援	実人数	2	1	
	居宅介護	延回数	79	78
延回数合計			293	356

新規利用者はあったが、末期のために退院後在宅で過ごす方や、通所や施設利用までの短期利用者で、継続的利用には繋がらず、目標未達成となった。

4. 通所介護事業

居宅から施設まで送迎し食事、入浴などの日常生活支援や機能低下を防止するための機能訓練や、心身の活性化を図るため日常生活支援、日常動作訓練等の通所介護サービスの提供を行った。

○生活機能低下予防のための介護サービスの提供

○備中デイサービスセンター・川上デイサービスセンター：指定管理施設の運営管理

○巨瀬デイサービスセンター：高梁市基準該当通所介護としての運営

<目標>

	巨瀬	川上	備中	合計
通所介護 延人数	280	3,700	3,600	7,580
介護予防 延人数	120	50	300	470
総合事業 延人数	110	120	300	530
障害者 延人数	0	0	24	24
計	510	3,870	4,224	8,604

<実績>

		巨瀬	川上	備中	合計	H28
定員		20	18	30	68	68
開所日(週)		1	5	5		
開所日数		46	244	243	533	490
通所介護	利用実人数	7	66	70	143	134
	利用延人数	281	3,375	4,108	7,764	7,714
予防介護	利用実人数	2	5	16	23	37
	利用延人数	24	140	417	581	1,067
障害者利用者数		0	0	38	38	34
利用延人数計		305	3,515	4,563	8,383	8,815

5. 介護予防・日常生活支援総合事業

介護保険制度の改正により、平成29年度から、要支援1・2の方や基本チェックリストにより認められた方を対象として、介護予防訪問介護と介護予防通所介護が総合事業（介護予防・日常生活支援総合事業）に移行された。

○ミニホームヘルプサービス

ホームヘルパーが自宅を訪問し、買い物、調理、掃除、洗濯等の生活支援を行った。

<目標> 年間延時間数 525時間

<実績> 利用実人数 5人 306時間

○総合事業ホームヘルプサービス

ホームヘルパーが自宅を訪問し、生活援助（食事の準備や調理など）、身体介護（食事や入浴、排泄の介助など）を行った。

<目標> 年間延利用者数 1,700人

<実績> 利用実人数 61人 利用延人数 824人

○総合事業ミニデイサービス

高梁地域の旧町で実施しているミニデイサービスを活用し、介護予防・日常生活支援のための日常動作訓練等を行った。

<目標> 年間延利用者数 120人

<実績> 利用実人数 6人 利用延人数 55人

○総合事業デイサービス

デイサービスセンターで生活機能の維持向上のための体操や筋力トレーニング、食事サービスの提供を行った。

<目標>

	高梁	川上	備中	合計
利用延人数	110	120	300	530

<実績>

	高梁	川上	備中	合計
利用実人数	2	9	18	29
利用延人数	76	184	311	571

6. 認知症対応型共同生活介護事業

認知症状態にある利用者に対し共同生活を営む住居において、家庭的な環境と地域住民との交流の下で日常生活や機能訓練等の必要な援助を行った。（ささゆり苑/定員9名）

- ・地域との連携を深め、利用者にとって温かみのある暮らしを目指した。
- ・看護師の定期的な訪問による健康チェックを行った。
- ・介護職員の専門性を高めるため研修会へ参加し、質の高い介護サービス提供に努めた。

<目標> 利用定員9人の維持

<実績>

	H29	H28
定員	9	9
利用実人員	11	12
延利用者数	3,215	3,183

公益事業

1. シルバー人材センター事業

予算額 95,131千円

執行額 82,508,222円 執行率 86.7%

働く意欲のある高齢者に、知識や経験、技術を活かした臨時的かつ短期的な仕事、又はその他の軽易な仕事を提供した。

<目標>登録会員数300人

延受注件数1,880件

延就労人員19,210人

<実績>

	高梁	有漢	成羽	川上	備中	合計	H28
会員数	107	26	42	59	39	273	271
延受注件数	1,191	104	222	176	79	1,772	1,831
延就労人員	6,243	1,261	1,291	4,325	2,112	15,232	16,436

・会員数は広報紙での会員募集、口コミ運動により新規登録があったものの登録会員の高齢等の退会も多く横ばい状態である。

・会員拡大への取り組み

アクティブシニア就職・生涯現役セミナーin高梁に参加し、広くシルバー人材センターの広報及び会員増強を図った。また、地域市民センター等を訪問し、シルバー人材センター啓発用グッズ及びチラシを配布し、会員増強に努めた。

・職群班の円滑な運用

班会議を開催し、情報の提供や共有を図った。

・安全管理の推進

班会議や班長会議において、シルバー人材センターのしおり等を活用し、会員の安全就労に対する自己管理意識の高揚と安全適正就労の推進を図った。

安全・適正就労パトロールを実施した。（岡山県シルバー人材センター連合会と合同実施）

平成29年8月23日（水） 安全・適正就業パトロール 現場指導6名

平成29年10月5日（木） アクティブシニア就職・生涯現役セミナーin高梁
相談者2名

2. 総合福祉センター運営管理（公益事業）

予算額 18,609千円

執行額 17,980,444円 執行率 96.6%

高齢者、障害者等及び福祉団体、ボランティア団体等の活動拠点として、また、市民の方々の教養の場として貸館業務を行った。

○高梁総合福祉センター管理運営（竣工 昭和51年3月20日）

○成羽総合福祉センター管理運営（竣工 昭和59年3月20日）

成羽福祉センター管理運営（竣工 平成2年3月20日）

	高梁	成羽	合計	H28
利用件数	1,012	172	1,184	1,464
延利用者数	17,995	4,709	22,704	30,566

管理運営委員会を1回開催し、施設の大規模修繕や今度のあり方等を検討するとともに、成羽複合施設建設に伴う成羽総合福祉センターの取壊し等について情報の共有を図った。

1. 理事会、評議員会等の各種会議の開催状況

(1) 正副会長会

第1回	平成29年	5月17日	高梁総合福祉センター	出席役員：	3人
第2回	平成29年	11月14日	高梁総合福祉センター	出席役員：	3人
第3回	平成29年	12月11日	高梁総合福祉センター	出席役員：	3人
第4回	平成30年	3月8日	高梁総合福祉センター	出席役員：	3人

(2) 会長・副会長・支会長会議

第1回	平成30年	3月8日	高梁総合福祉センター	出席役員：	6人
-----	-------	------	------------	-------	----

(3) 理事会

第1回	平成29年	5月22日	高梁総合福祉センター	出席役員：	14人
第2回	平成29年	6月6日	高梁総合福祉センター	出席役員：	14人
第3回	平成29年	11月22日	高梁総合福祉センター	出席役員：	13人
第4回	平成29年	12月18日	高梁総合福祉センター	出席役員：	13人
第5回	平成30年	3月20日	高梁総合福祉センター	出席役員：	12人

(4) 評議員会

第1回	平成29年	6月6日	高梁総合福祉センター	出席者：	26人
第2回	平成29年	11月29日	高梁総合福祉センター	出席者：	25人
第3回	平成29年	12月26日	高梁総合福祉センター	出席者：	25人
第4回	平成30年	3月28日	高梁総合福祉センター	出席者：	24人

(5) 委員会

・総務企画委員会

第1回	平成29年	5月12日	高梁総合福祉センター	出席委員：	15人
第2回	平成29年	11月9日	高梁総合福祉センター	出席委員：	8人
第3回	平成29年	12月5日	高梁総合福祉センター	出席委員：	13人
第4回	平成30年	3月1日	高梁総合福祉センター	出席委員：	17人

・社会福祉委員会

第1回	平成29年	5月12日	高梁総合福祉センター	出席委員：	16人
第2回	平成29年	11月15日	高梁総合福祉センター	出席委員：	13人
第3回	平成29年	12月5日	高梁総合福祉センター	出席委員：	14人
第4回	平成30年	3月1日	高梁総合福祉センター	出席委員：	12人

・表彰選考委員会

平成29年 8月29日 高梁総合福祉センター 出席委員： 5人

・高梁市総合福祉センター管理運営委員会

平成29年10月26日 高梁総合福祉センター 出席委員：10人

・苦情解決第三者委員会

平成29年10月25日 高梁総合福祉センター 出席委員： 3人

(6) 支会運営委員会

・高梁支会

第1回 平成29年 6月26日 高梁総合福祉センター 出席委員：10人

・有漢支会

第1回 平成29年 6月16日 有漢保健センター 出席委員： 6人

第2回 平成30年 2月27日 有漢保健センター 出席委員： 6人

・成羽支会

第1回 平成29年 5月16日 成羽総合福祉センター 出席委員：6人

・川上支会

第1回 平成29年 5月18日 川上保健センター 出席委員： 6人

第2回 平成30年 3月15日 川上保健センター 出席委員： 6人

・備中支会

第1回 平成29年 6月16日 備中支所 出席委員： 4人

第2回 平成30年 3月15日 備中支所 出席委員： 5人

2. 監事による監査

第1回 平成29年 5月10日 高梁総合福祉センター 出席監事： 2人

第2回 平成29年11月22日 高梁総合福祉センター 出席監事： 2人

3. 職員の資質向上のための研修及び内部監査の実施状況

(1) 計画的な職員研修

① 専門研修

・人事・労務管理研修 参加者 1名

期日：平成29年6月（1日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・会計職員実務研修会 参加者 1名

期日：平成29年7月（1日間）

会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」

・岡山県福祉職員生涯研修会（指導コース） 参加者 2名

- 期日：平成29年7月～8月（2日間）
 会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
- ・岡山県福祉職員生涯研修会（管理コース） 参加者 1名
 期日：平成29年8月（1日間）
 会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
 - ・コーチング研修会 参加者 1名
 期日：平成29年9月（2日間）
 会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
 - ・対人援助技術研修会（基礎コース） 参加者 1名
 期日：平成29年10月（1日間）
 会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
 - ・リスクマネジメント研修会（指導・管理コース） 参加者 2名
 期日：平成29年10月（1日間）
 会場：岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館「きらめきプラザ」
 - ・内部研修会（全職員対象） 参加者43名
 期日：平成30年2月（半日間）

②内部監査の実施

関係法令及び経理規程に基づく会計処理、前年度の指摘事項の改善状況について行った。特に、未収金、未払金の処理等出納処理状況、各種支払に係る経理、備品管理状況に重点を置いて実施した。

実施日：平成29年9月 7日 総務課、有漢支所
 9月 8日 川上支所
 9月12日 地域福祉課
 9月13日 介護保険課
 9月14日 備中支所、成羽支所
 9月15日 地域福祉課
 9月19日 ささゆり苑、地域福祉課
 9月20日 巨瀬デイサービスセンター、地域福祉課

